

- 医療コンテナ等を活用したODAによる支援の現状に関し、新型コロナの収束、そして今後のパンデミックに対する備えとして、島嶼国含む12か国に対する医療コンテナ・プレハブを含む医療機材の供与や技術支援を決定済み。

【巡回医療等を目的とした医療コンテナを含む医療機材の供与】

ウズベキスタン、サモア、ミクロネシア、コンゴ(民)、ソロモン、トルクメニスタン

【医療コンテナ/プレハブを含む医療機材の供与と遠隔ICUシステムを活用したソフト支援の連携】

メキシコ、トンガ、ケニア、インドネシア、パラオ、セネガル

- 医療コンテナ・プレハブの引き渡し完了した国は8か国(ウズベキスタン、メキシコ、トンガ、インドネシア、ケニア、パラオ、コンゴ(民)、セネガル)。

パラオに供与されたプレハブICUの様子



※JICAホームページより

トンガに供与されたコンテナICUの様子



※JICAホームページより

【ウクライナへの医療コンテナ支援】

- ・ウクライナにおいて、医療分野の支援ニーズが多岐にわたること、また、地域によってはインフラの破壊により輸送が難しい可能性があることに留意しつつ、ウクライナ側のニーズや優先順位を踏まえる必要がある。
- ・現状としては、日本側から医療コンテナを支援の候補として提示しているが、ウクライナ保健省からは具体的な要望は示されていない状況。